

## 国内自転車生産・輸出入状況（2019年1～9月）

### 1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

2019年1～9月期の生産状況は、総生産台数が前年同期を下回ったものの総生産金額は前年同期を上回った。一方、2019年1～9月期の輸入状況については、総輸入台数は前年同期を上回ったものの、総輸入金額は前年同期を下回った。生産台数に輸入台数を加えた2019年1～9月の国内向け数量は過去15年間で14番目となっている。

### 2. 我が国の自転車生産

#### 2-1 2019年1～9月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、2019年1～9月の我が国の完成自転車生産台数は631,181台、完成自転車生産金額は404億6,849万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は0.6%減少し、総生産金額は2.0%増加した。また2019年1～9月の完成自転車生産平均単価は64,116円となっており、前年同期の62,505円から2.6%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 2019年1～9月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(千円)	平均単価(円)
2019年1～9月	631,181	40,468,490	64,116
2018年1～9月	634,712	39,672,442	62,505
変化	-3,531	796,048	1,611
変化%	-0.6%	2.0%	2.6%

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2019年1～9月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。

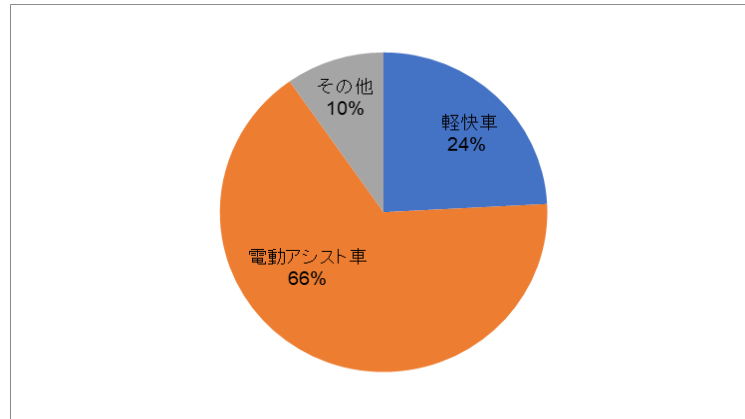
表2 車種別生産状況 2019年1～9月と2018年1～9月との比較

1～9月 車種	2019年		2018年		変化			
	台数	金額 (千円)	台数	金額 (千円)	台数	%	金額 (千円)	%
軽快車	152,609	3,788,966	153,934	3,747,152	-1,325	-0.9	41,814	1.1
電動アシスト車	417,188	35,367,483	421,888	34,587,864	-4,700	-1.1	779,619	2.3
その他	61,384	1,312,041	58,890	1,337,426	2,494	4.2	-25,385	-1.9
計	631,181	40,468,490	634,712	39,672,442	-3,531	-0.6	796,048	2.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に2019年1～9月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が66%を占め、次いで「軽快車」が24%を占めている。

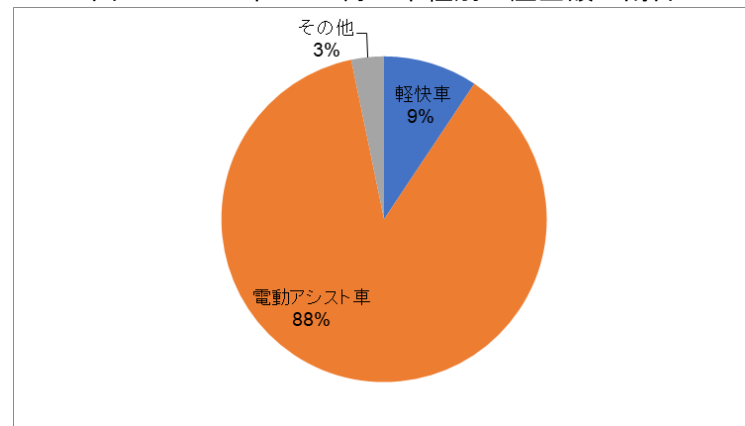
図A 2019年1～9月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に2019年1～9月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が88%を占めている。

図B 2019年1～9月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、2019年1～9月と2018年1～9月とを比較した表3を示す。「軽快車」と「電動アシスト車」が上昇している一方で、「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 2019年1～9月と2018年1～9月との比較

車種	2019年1～9月 生産平均単価(円)	2018年1～9月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	24,828	24,343	485	2.0
電動アシスト車	84,776	81,984	2,792	3.4
その他	21,374	22,711	-1,336	-5.9
計	64,116	62,505	1,611	2.6

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数が対前年同期比減少している月が多い一方で、生産金額は対前年同期比増加している月が多い。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 2019年と2018年との比較

	2019年			2018年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (千円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)			
1月	45,893	4,149,189	90,410	46,507	3,774,633	81,163	-614	374,556	9,247
2月	52,707	4,741,124	89,952	54,734	4,613,710	84,293	-2,027	127,414	5,659
3月	59,872	4,968,034	82,978	60,222	4,722,509	78,418	-350	245,525	4,559
4月	51,496	4,234,450	82,229	48,918	3,725,556	76,159	2,578	508,894	6,070
5月	46,439	4,024,551	86,663	48,452	4,019,285	82,954	-2,013	5,266	3,709
6月	38,373	3,208,779	83,621	46,684	3,856,544	82,610	-8,311	-647,765	1,011
7月	44,116	3,724,531	84,426	42,675	3,527,838	82,668	1,441	196,693	1,758
8月	38,424	3,265,004	84,973	35,636	3,061,485	85,910	2,788	203,519	-937
9月	39,868	3,051,821	76,548	38,060	3,286,304	86,345	1,808	-234,483	-9,797
1～9月	417,188	35,367,483	84,776	421,888	34,587,864	81,984	-4,700	779,619	2,792

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

## 2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

2019年1～9月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
2019年1～9月と2018年1～9月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			9月末在庫 (台)
	台数	金額(千円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(千円)		
2019.1～9 軽快車	152,609	3,788,966	428,705	482,491	7,682,047	126,717	25,754
2018.1～9 軽快車	153,934	3,747,152	403,199	449,613	7,424,782	142,708	27,811
変化 %	-0.9	1.1	6.3	7.3	3.5	-11.2	-7.4
2019.1～9 電動アシスト車	417,188	35,367,483	321,935	537,592	44,750,811	241,361	28,115
2018.1～9 電動アシスト車	421,888	34,587,864	395,463	505,044	41,138,271	293,545	67,230
変化 %	-1.1	2.3	-18.6	6.4	8.8	-17.8	-58.2
2019.1～9 その他	61,384	1,312,041	214,597	264,595	5,073,058	16,573	48,929
2018.1～9 その他	58,890	1,337,426	244,261	251,762	5,804,439	46,359	43,386
変化 %	4.2	-1.9	-12.1	5.1	-12.6	-64.3	12.8
2019.1～9 全車種計	631,181	40,468,490	965,237	1,284,678	57,505,916	384,651	102,798
2018.1～9 全車種計	634,712	39,672,442	1,042,923	1,206,419	54,367,492	482,612	138,427
変化 %	-0.6	2.0	-7.4	6.5	5.8	-20.3	-25.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、2019年1～9月の全車種の「受入」台数は2018年1～9月の「受入」台数に比べ7.4%減少した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、2019年1～9月の全車種の「出荷・販売」台数は2018年1～9月のそれに比べ6.5%増加した。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は5.8%増加した。「軽快車」と「電動アシスト車」が増加した一方で、「その他」は減少している。

2019年1～9月の全車種の「出荷・その他」台数は、2018年1～9月のそれに比べ20.3%減少した。すべての車種で減少が示されている。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、2019年9月の全車種の「月末在庫」台数は102,798台で、前年同月と比べ25.7%減少した。

### 2-3 1～9月の生産状況の過去15年間の推移

表6に2005年から2019年まで過去15年間の毎年1～9月の我が国の自転車生産、出荷及び9月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～9月の自転車生産・出荷  
及び9月末在庫の過去15年間の推移

1～9月	生産			出荷			9月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	
2019年	631,181	40,468,490	64,116	1,284,678	57,505,916	44,763	102,798
2018年	634,712	39,672,442	62,505	1,206,419	54,367,492	45,065	138,427
2017年	649,945	40,349,190	62,081	1,266,869	52,332,618	41,309	109,885
2016年	704,637	40,259	57,134	1,271,904	46,619	36,653	125,811
2015年	661,545	34,110	51,561	1,226,711	41,376	33,729	116,411
2014年	713,781	35,399	49,594	1,358,934	42,020	30,921	120,243
2013年	714,851	31,472	44,026	1,439,288	41,178	28,610	172,231
2012年	781,456	31,333	40,096	2,133,627	47,298	22,168	200,587
2011年	831,406	32,806	39,458	2,422,142	51,603	21,305	184,768
2010年	797,261	28,240	35,421	2,423,522	46,420	19,154	157,379
2009年	792,224	25,658	32,387	2,462,655	44,584	18,104	172,896
2008年	810,141	20,778	25,647	2,752,694	41,621	15,120	154,625
2007年	854,776	18,946	22,165	2,877,110	37,740	13,117	168,033
2006年	1,031,806	19,538	18,936	3,173,847	37,993	11,971	190,393
2005年	1,520,226	24,056	15,824	4,142,301	45,511	10,987	273,655

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、

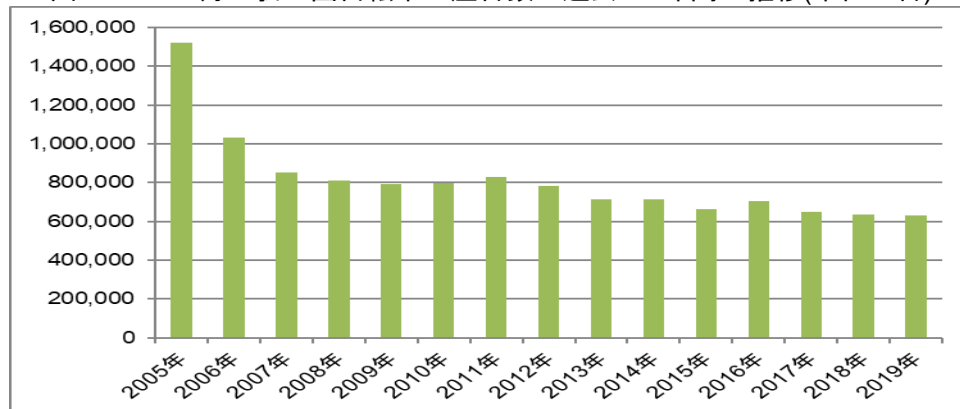
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

\*2016年以前は百万円単位、2017年以降は千円単位

2019年1～9月の「生産台数」は、過去15年間で最少となっている。一方、「生産金額」は過去15年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去15年間で最高である。また2019年1～9月の「出荷台数」は過去15年間で11番目、「出荷金額」は過去15年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去15年間で2番目となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が15年間一貫して高くなっている。「9月末在庫台数」は102,798台で、過去15年間で最低となっている。

表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～9月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は低迷している。

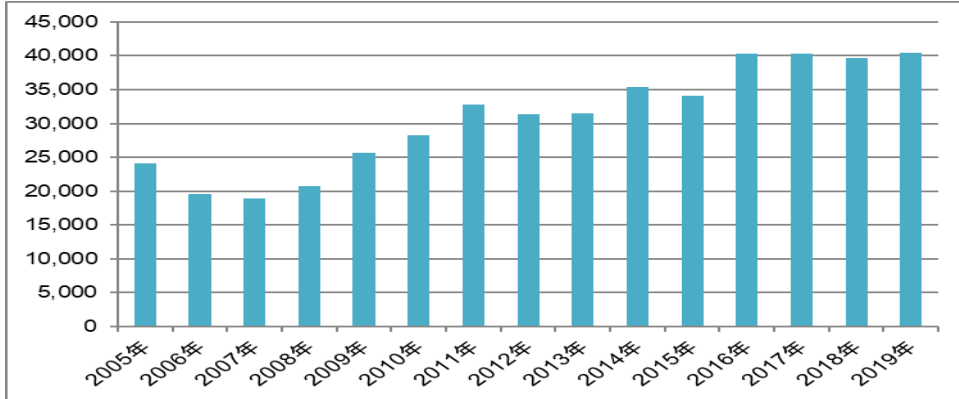
図C 1～9月の我が国自転車生産台数の過去15年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表 6 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の生産金額の推移をグラフで示したものが図 D である。

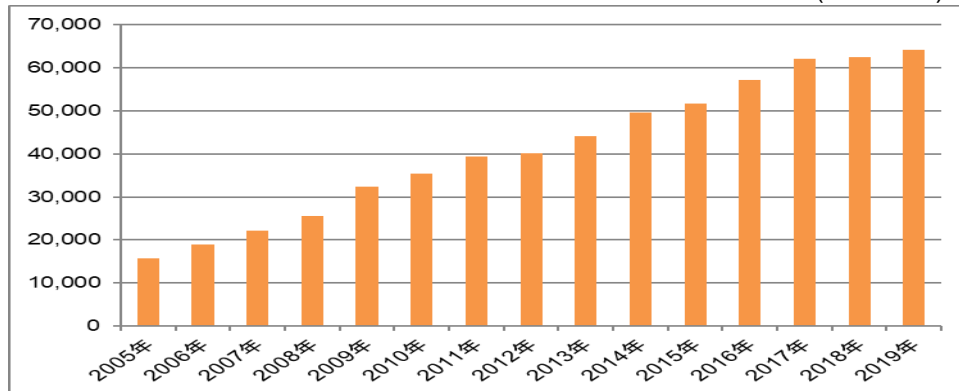
図 D 1～9 月の我が国自転車生産金額の過去 15 年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表 6 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図 E である。生産平均単価は上昇傾向にある。

図 E 1～9 月の我が国自転車生産平均単価の過去 15 年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移を表 7 に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去15年間の推移（単位：台）

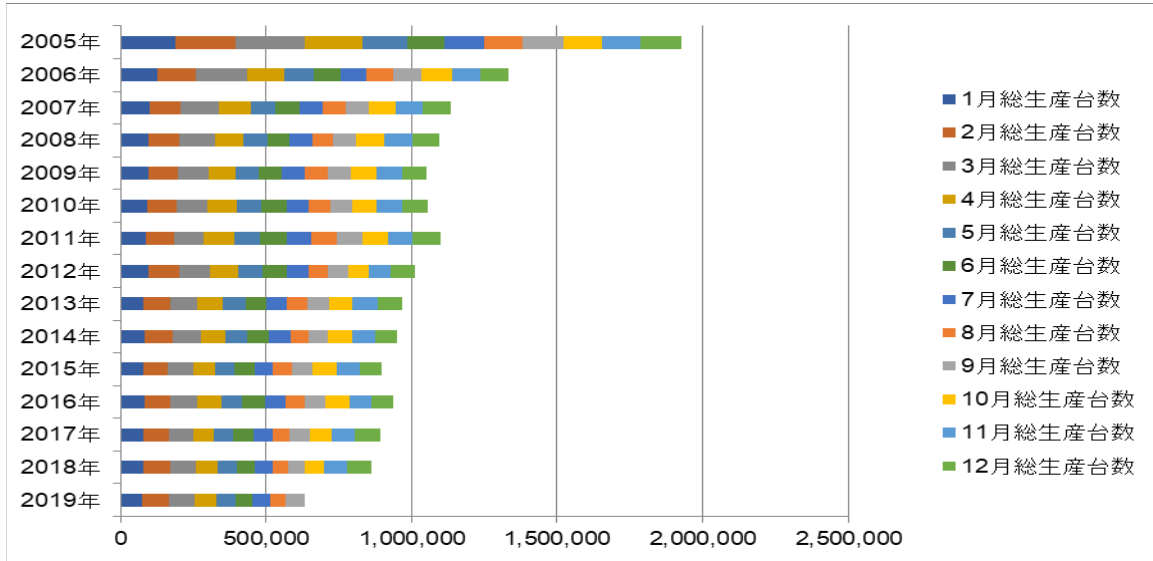
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
2019	76,039	91,061	89,164	74,467	66,246	55,254
2018	78,463	93,312	86,051	76,370	65,715	63,702
2017	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	68,896
2016	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
2015	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
2014	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
2013	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
2012	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
2011	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
2010	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
2009	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
2008	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
2007	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
2006	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522
2005	186,677	207,574	239,561	197,996	151,547	129,232

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
2019	59,954	54,191	64,805				631,181
2018	58,056	53,849	59,194	66,085	77,433	83,025	861,255
2017	66,260	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,850
2016	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
2015	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
2014	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
2013	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
2012	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
2011	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
2010	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
2009	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
2008	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
2007	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
2006	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512
2005	138,579	130,081	138,979	135,527	132,069	138,614	1,926,436

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
2018年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図 F 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)



出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

更に 1~9 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移を表 8 に示す。

表 8 1~9 月の車種別生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2019	152,609	417,188	61,384	631,181
2018	153,934	421,888	58,890	634,712
2017	167,191	419,792	62,962	649,945
2016	204,316	419,974	80,347	704,637
2015	226,405	346,678	88,462	661,545
2014	240,430	373,612	99,739	713,781
2013	276,806	333,121	104,924	714,851
2012	370,478	305,740	105,238	781,456
2011	396,759	325,571	109,076	831,406
2010	401,719	270,666	124,876	797,261
2009	409,556	242,602	140,066	792,224
2008	470,423	207,668	132,050	810,141
2007	516,798	198,460	139,518	854,776
2006	671,357	181,343	179,106	1,031,806
2005	1,036,648	172,502	311,076	1,520,226

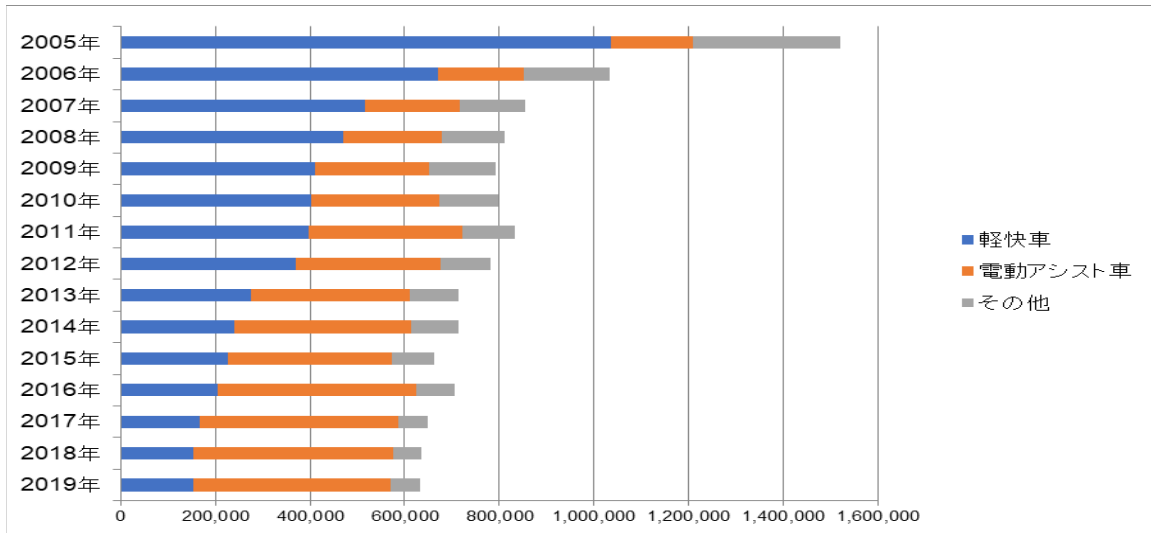
2011 年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。2005 年から 2010 年までの「その他」の数値は、これら 4 区分の合計数値。

出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 8 に示した 1~9 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 G である。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様子が示されている。



図 G 1～9月の車種別生産台数の過去15年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

表 9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12～16 吋) ・ 乗用玩具(12 吋二輪車) ・ 一輪車(12～16 吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18～24 吋) ・ Jr.MTB(18～24 吋) ・ 一輪車(18～24 吋)
8712.00291 軽快車	・ 軽快車(外装変速機付は含まない) ・ シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・ スポーツ車 ・ 外装変速機付軽快車 ・ Jr.MTB(26 吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・ 電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-1 2019年1~9月の輸入状況の概要

表10は、2019年1~9月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は4,847,105台となり前年同期から1.9%増加した。一方、総CIF金額は552億7,232万5千円となり前年同期比1.8%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,403円となり前年同期比3.6%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、2019年1~9月の平均レートはUS1\$=JPY109.28であったのに対し、2018年1~9月の平均レートはUS1\$=JPY109.65(ともに税関長公示レートを参考にした)であった。

表10 2019年1~9月の我が国の自転車輸入 2018年1~9月との比較  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~9月	4,847,105	55,272,325	11,403
2018年1~9月	4,755,301	56,263,519	11,832
変化	91,804	-991,194	-429
変化%	1.9	-1.8	-3.6

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで2019年1~9月の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。台数・金額ともに前年同期比で増加している。

表10附表 参考 2019年1~9月の我が国の  
「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入  
2018年1~9月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~9月	266,095	9,791,603	36,797
2018年1~9月	234,246	9,135,154	38,998
変化	31,849	656,449	-2,201
変化%	13.6	7.2	-5.6

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-2 2019年1~9月の車種別輸入状況

表11は2019年1~9月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 2019 年 1～9 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	122,009	2,160,843	17,711
8712.00211 ミニサイクル	209,819	2,646,974	12,616
8712.00218 幼児車	306,165	2,271,959	7,421
8712.00219 子供車	1,166,903	10,511,880	9,008
8712.00291 軽快車	1,286,592	11,897,929	9,248
8712.00299 その他	1,755,617	25,782,740	14,686
計	4,847,105	55,272,325	11,403

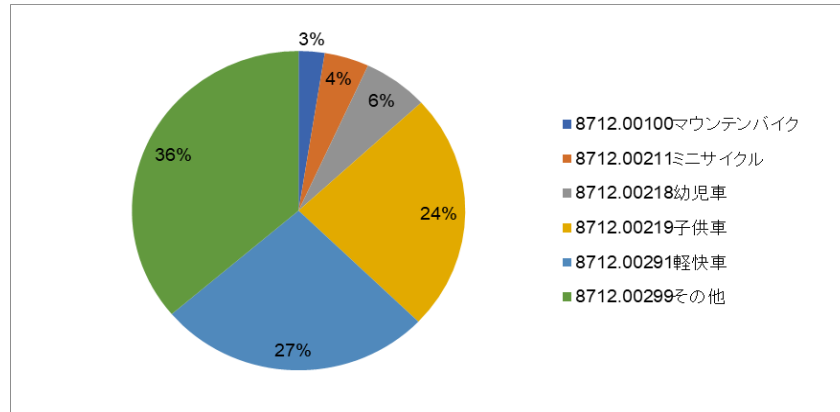
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	266,095	9,791,603	36,797
------------------------------------	---------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 17,711 円と「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,248 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 14,686 円である。

表 1 1 を基に、2019 年 1～9 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 36%、「軽快車」が 27%を占めている。

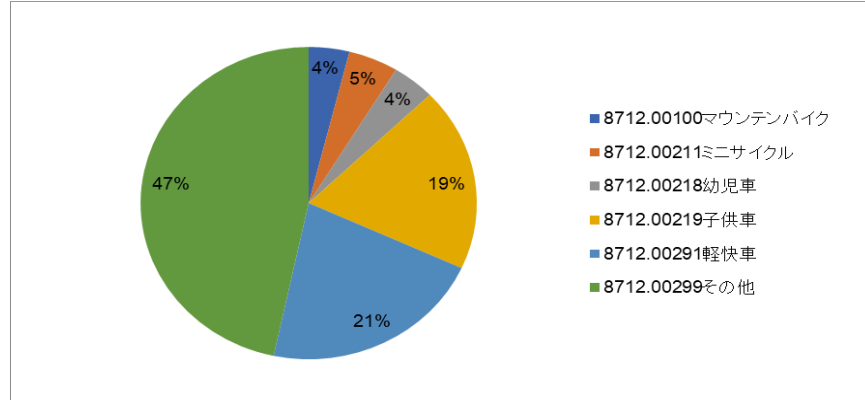
図 H 2019 年 1～9 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、2019 年 1～9 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 47%、「軽快車」が 21%を占めている。

図1 2019年1～9月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は2019年1～9月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。「ミニサイクル」「子供車」は台数及び金額ともに増加している一方で、「幼児車」「軽快車」は、台数及び金額ともに減少していることが示されている。

表12 我が国の車種別自転車輸入 2019年1～9月と2018年1～9月との比較

1～9月 車種	2019年		2018年		変化%	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	122,009	2,160,843	120,388	2,329,044	1.3%	-7.2%
8712.00211 ミニサイクル	209,819	2,646,974	181,671	2,207,116	15.5%	19.9%
8712.00218 幼児車	306,165	2,271,959	329,774	2,449,411	-7.2%	-7.2%
8712.00219 子供車	1,166,903	10,511,880	1,097,099	10,232,960	6.4%	2.7%
8712.00291 軽快車	1,286,592	11,897,929	1,320,949	12,514,060	-2.6%	-4.9%
8712.00299 その他	1,755,617	25,782,740	1,705,420	26,530,928	2.9%	-2.8%
計	4,847,105	55,272,325	4,755,301	56,263,519	1.9%	-1.8%
平均単価(円)		11,403		11,832		-3.6%

8711.60000 駆動原動機として 電動機を有する モーターサイクル	266,095	9,791,603	234,246	9,135,154	13.6%	7.2%
平均単価(円)		36,797		38,998		-5.6%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-3 1～9月の輸入状況の過去15年間の推移

表13は毎年1～9月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～9 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

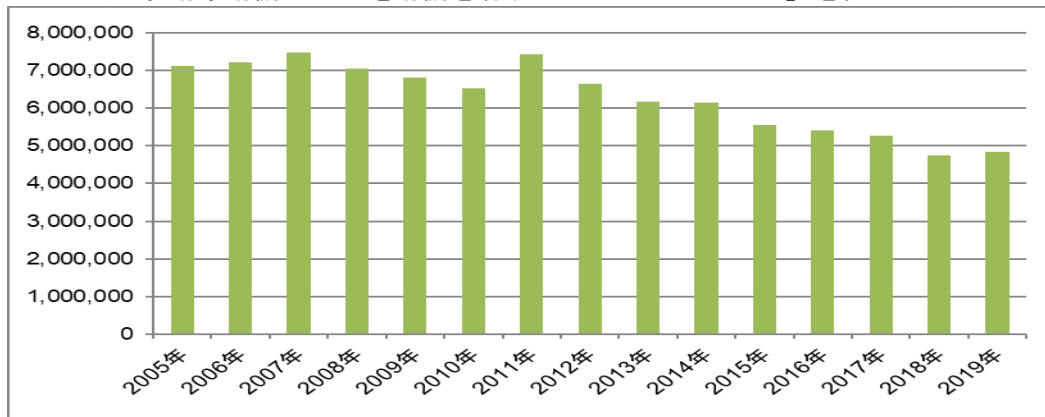
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
2019	4,847,105	55,272,325	11,403
2018	4,755,301	56,263,519	11,832
2017	5,279,296	57,550,264	10,901
2016	5,407,408	60,448,602	11,179
2015	5,563,740	72,368,904	13,007
2014	6,156,819	65,380,080	10,619
2013	6,164,050	60,817,427	9,866
2012	6,645,307	56,656,703	8,526
2011	7,439,430	57,834,666	7,774
2010	6,532,074	50,373,649	7,712
2009	6,805,437	56,381,637	8,285
2008	7,055,737	59,974,342	8,500
2007	7,472,189	57,862,958	7,744
2006	7,218,377	50,558,242	7,004
2005	7,122,058	44,209,302	6,207

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2019 年 1～9 月の総輸入台数は、過去 15 年間で 14 番目である。一方、2019 年 1～9 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 12 番目である。平均 CIF 単価は 11,403 円で、過去 15 年間で 3 番目となっている。

表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

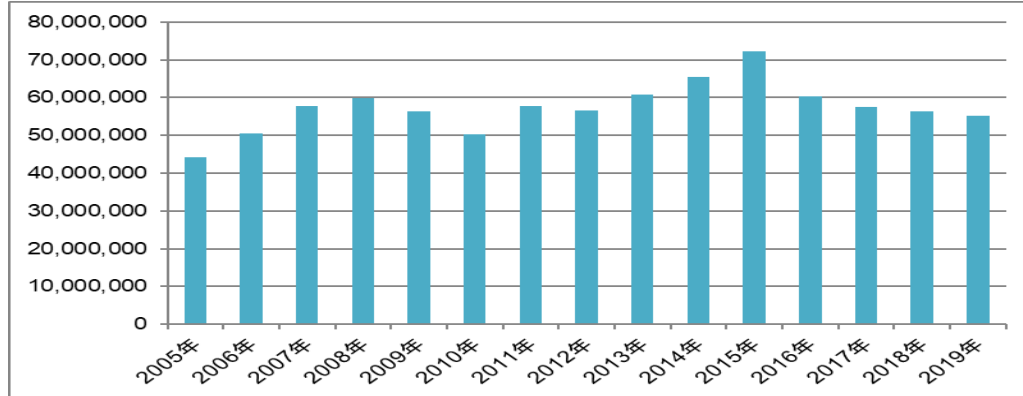
図 J 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K である。

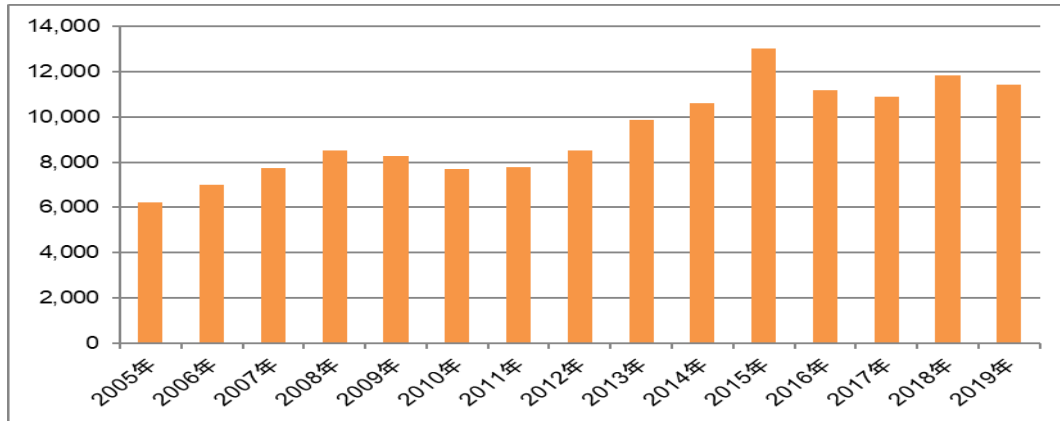
図 K 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

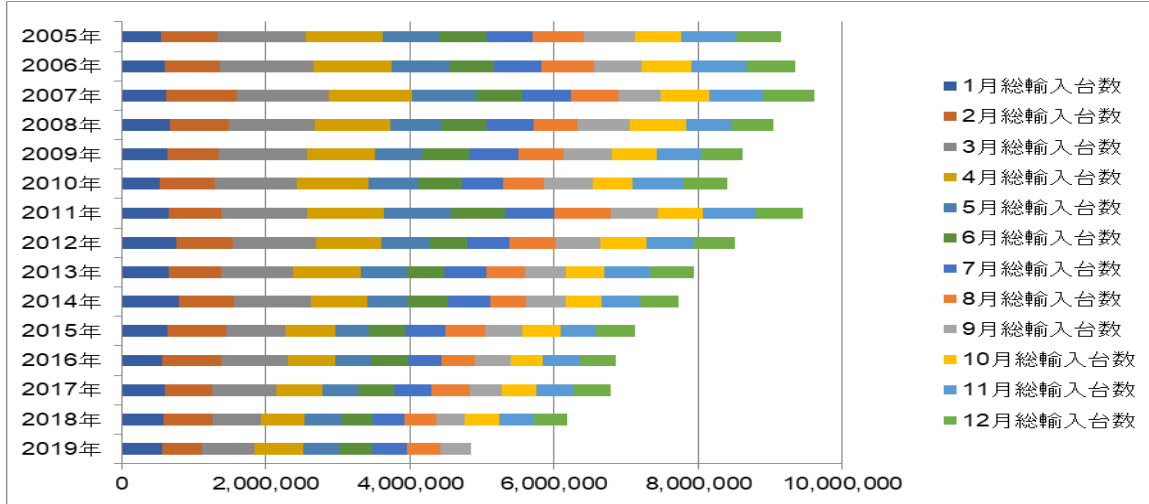
年	1 月総輸入台数	2 月総輸入台数	3 月総輸入台数	4 月総輸入台数	5 月総輸入台数	6 月総輸入台数
2019	561,860	557,809	720,388	674,931	511,046	445,684
2018	584,582	672,121	684,815	588,526	515,094	434,024
2017	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
2016	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
2015	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
2014	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
2013	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
2012	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
2011	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
2010	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
2009	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
2008	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
2007	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
2006	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
2005	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039

年	7 月総輸入台数	8 月総輸入台数	9 月総輸入台数	10 月総輸入台数	11 月総輸入台数	12 月総輸入台数	総輸入台数
2019	495,750	448,777	430,860				4,847,105
2018	452,637	430,168	393,334	481,847	479,022	465,912	6,182,082
2017	511,094	522,474	454,877	480,920	514,237	503,346	6,777,799
2016	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
2015	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
2014	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
2013	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
2012	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
2011	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
2010	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
2009	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
2008	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
2007	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
2006	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
2005	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、毎年 1~9 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

表 15 毎年 1~9 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

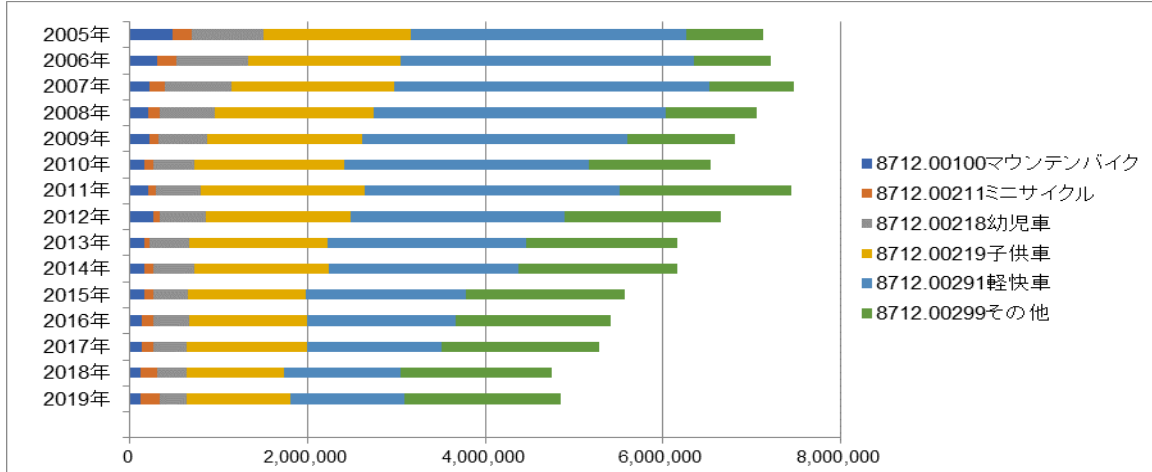
	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
2019	122,009	209,819	306,165	1,166,903	1,286,592	1,755,617	4,847,105
2018	120,388	181,671	329,774	1,097,099	1,320,949	1,705,420	4,755,301
2017	130,534	135,601	371,824	1,355,373	1,519,012	1,766,952	5,279,296
2016	134,725	124,708	406,683	1,333,207	1,671,031	1,737,054	5,407,408
2015	156,911	107,587	386,604	1,334,339	1,795,309	1,782,990	5,563,740
2014	161,017	102,141	459,005	1,510,857	2,137,669	1,786,130	6,156,819
2013	155,838	61,608	448,419	1,559,473	2,236,418	1,702,294	6,164,050
2012	263,293	73,898	520,291	1,625,858	2,412,687	1,749,280	6,645,307
2011	204,466	89,494	507,755	1,838,854	2,874,802	1,924,059	7,439,430
2010	159,596	100,863	463,636	1,680,444	2,763,673	1,363,862	6,532,074
2009	221,487	97,949	543,869	1,750,154	2,986,599	1,205,379	6,805,437
2008	206,337	127,621	617,671	1,795,229	3,282,025	1,026,854	7,055,737
2007	212,984	180,294	755,253	1,823,903	3,546,312	953,443	7,472,189
2006	300,333	221,438	812,645	1,712,322	3,304,125	867,514	7,218,377
2005	476,491	215,266	804,519	1,667,859	3,097,990	859,933	7,122,058

出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。



図 N 毎年 1～9 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

2019年1～9月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表16である。

表 16 2019年1～9月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	4,752,750	98.1	48,324,598	87.4	10,168
台湾	79,796	1.6	5,779,317	10.5	72,426
その他	14,559	0.3	1,168,410	2.1	80,253
計	4,847,105	100.0	55,272,325	100.0	11,403

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の98.1%、総CIF金額の87.4%を占めている。平均CIF単価は10,168円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の1.6%、総CIF金額の10.5%を占めている。平均CIF単価は72,426円である。これら2つの国・地域で総台数の99.7%、総CIF金額の97.9%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表17のようになっている。

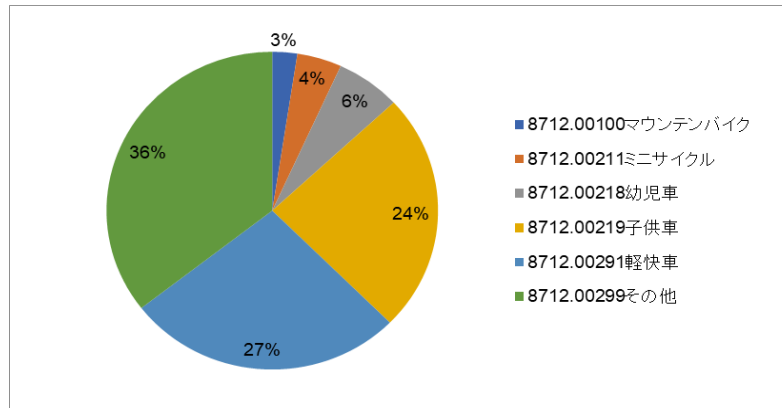
表 17 2019年1～9月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	115,608	1,806,813	15,629
8712.00211 ミニサイクル	206,798	2,454,281	11,868
8712.00218 幼児車	299,712	2,104,506	7,022
8712.00219 子供車	1,157,558	10,262,214	8,865
8712.00291 軽快車	1,285,584	11,850,966	9,218
8712.00299 その他	1,687,490	19,845,818	11,761
計	4,752,750	48,324,598	10,168

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した 2019 年 1～9 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 O である。「その他」が 36% を占め、次いで「軽快車」が 27% を占めている。

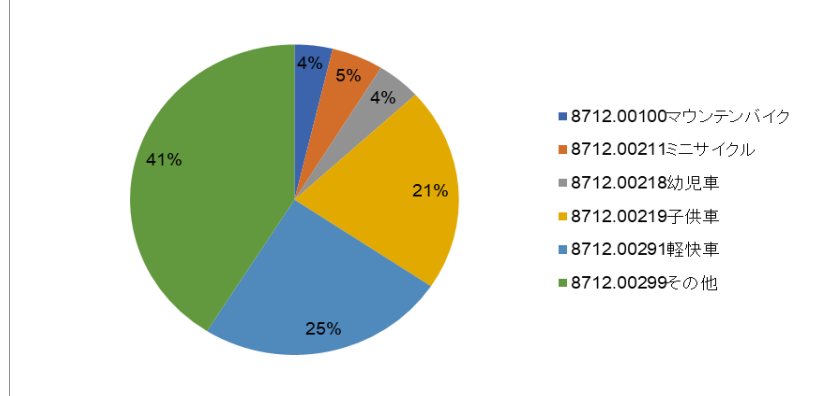
図 O 2019年1～9月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別台数割合  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 17 に示した 2019 年 1～9 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 41% を占め、次いで「軽快車」が 25% を占めている。

図 P 2019年1～9月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別 CIF 金額割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表18のようになっている。

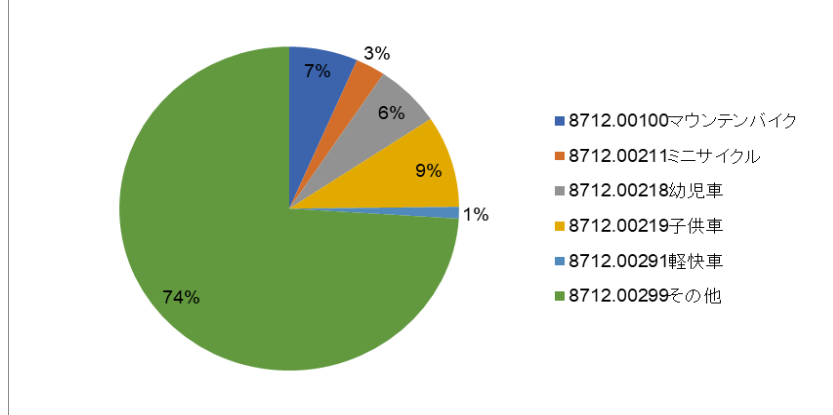
表18 2019年1～9月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	5,213	290,811	55,786
8712.00211 ミニサイクル	2,260	134,019	59,300
8712.00218 幼児車	5,030	31,464	6,255
8712.00219 子供車	7,307	173,616	23,760
8712.00291 軽快車	927	38,604	41,644
8712.00299 その他	59,059	5,110,803	86,537
計	79,796	5,779,317	72,426

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した2019年1～9月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは異なり、「その他」が74%と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が7%を占めている。一方で、「軽快車」は僅か1%を占めるにすぎない状況となっている。

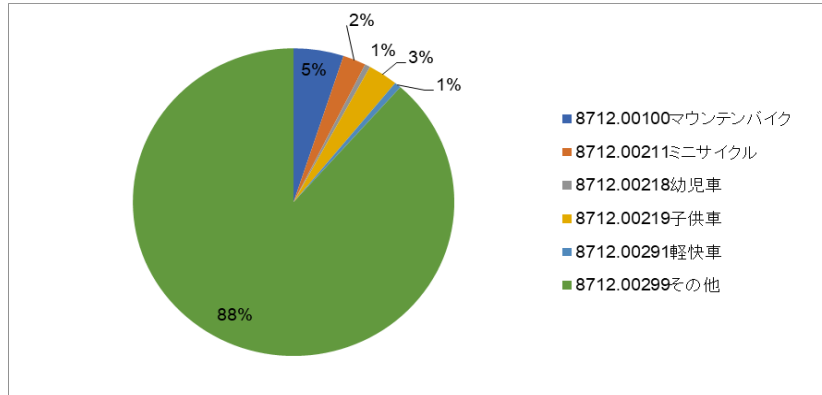
図 Q 2019年1～9月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表18に示した2019年1～9月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Rである。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が88%を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が5%を占め、「軽快車」は僅か1%である。

図 R 2019年1～9月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで、2019年1～9月の2018年1～9月と比較した、我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表19に示す。

表19 参考 2019年1～9月の我が国の「駆動原動機として電動機を有する  
モーターサイクル」の輸入 主要供給元 2018年1～9月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合(%)	CIF金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合(%)	平均CIF 単価(円)
2019.1～9 中華人民共和国	261,109	98.1	9,197,247	93.9	35,224
2018.1～9 中華人民共和国	230,115	98.2	8,748,449	95.8	38,018
変化	30,994	-0.1	448,798	-1.8	-2,794
2019.1～9 台湾	4,090	1.5	321,127	3.3	78,515
2018.1～9 台湾	3,630	1.5	208,834	2.3	57,530
変化	460	0.0	112,293	1.0	20,985
2019.1～9 その他	896	0.3	273,229	2.8	304,943
2018.1～9 その他	501	0.2	177,871	1.9	355,032
変化	395	0.1	95,358	0.8	-50,089
2019.1～9 計	266,095	100.0	9,791,603	100.0	36,797
2018.1～9 計	234,246	100.0	9,135,154	100.0	38,998
変化	31,849	0.0	656,449	0.0	-2,201

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～9月の「国内向け数量」について、過去15年間の推移を表20に示す。2019年1～9月期の国内向け数量は5,478,286台で、過去15年間で14番目となった。また国内生産比率は11.5%であった。

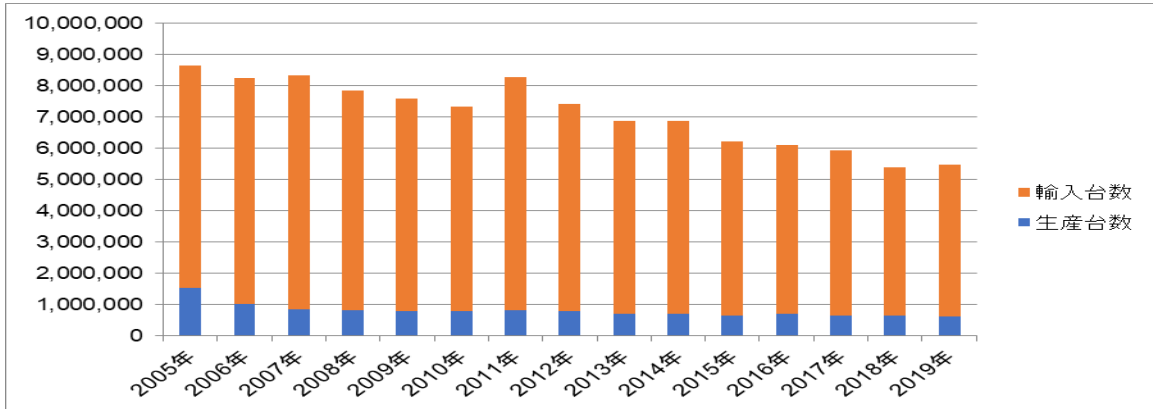
表20 毎年1～9月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去15年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
2019	631,181	4,847,105	5,478,286	11.5
2018	634,712	4,755,301	5,390,013	11.8
2017	649,945	5,279,296	5,929,241	11.0
2016	704,637	5,407,408	6,112,045	11.5
2015	661,545	5,563,740	6,225,285	10.6
2014	713,781	6,156,819	6,870,600	10.4
2013	714,851	6,164,050	6,878,901	10.4
2012	781,456	6,645,307	7,426,763	10.5
2011	831,406	7,439,430	8,270,836	10.1
2010	797,261	6,532,074	7,329,335	10.9
2009	792,224	6,805,437	7,597,661	10.4
2008	810,141	7,055,737	7,865,878	10.3
2007	854,776	7,472,189	8,326,965	10.3
2006	1,031,806	7,218,377	8,250,183	12.5
2005	1,520,226	7,122,058	8,642,284	17.6

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図 S 毎年 1～9 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移  
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
 輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（2018 年以前の数値は改定値）、  
 財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。2019 年 1～9 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 1 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 1 2019 年 1～9 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ミャンマー	453,637	648,090	1,429
ガーナ	444,183	713,590	1,607
カンボジア	297,347	620,168	2,086
アフガニスタン	235,271	371,187	1,578
タンザニア	177,523	301,806	1,700
イラク	133,714	255,635	1,912
ナイジェリア	116,036	202,122	1,742
UAE	104,178	184,889	1,775
フィリピン	86,836	153,743	1,770
トルコ	33,636	63,024	1,874
その他	161,279	376,263	2,333
計	2,243,640	3,890,517	1,734

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 2 に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 6 番目、総金額は過去 15 年間で 3 番目となっている。2019 年 1～9 月の平均 FOB 単価は 1,734 円で、過去 15 年間でやはり 3 番目となっている。

表 2 2 毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
2019	2,243,640	3,890,517	1,734
2018	2,234,052	3,727,953	1,669
2017	2,365,612	3,788,198	1,601
2016	2,332,886	4,090,139	1,753
2015	2,570,617	4,645,451	1,807
2014	2,420,144	3,665,553	1,515
2013	2,323,183	3,157,174	1,359
2012	2,193,967	2,874,936	1,310
2011	1,907,450	2,514,470	1,318
2010	1,751,898	2,328,719	1,329
2009	1,595,171	2,190,288	1,373
2008	1,743,907	2,904,059	1,665
2007	1,420,134	1,935,946	1,363
2006	960,014	1,034,642	1,078
2005	879,327	992,025	1,128

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上